

アヴァンティ
Avanti
2013

VOL. 4

2013
夏号



(公社) 岐阜南法人会

ほっとインタビュー

聞き手／金神徹尚・田島禎行・伏見正道・浅野康昌

日本ウエストン株式会社
代表取締役社長 白井麻紗杜氏



今回は、4月に経済産業省の「おもてなし経営企業選」に県内から唯一選ばれた岐阜南法人会会員でもある産業用リネンサプライの日本ウエストン（岐阜市柳津町）白井社長にお話を伺って参りました。

まず私達を迎えてくれたのは「いらっしゃいませ」の大きな声、そして我々一人ひとりに宛てられたメッセージ入りの色紙や名前入りのコースターなど、驚きと興味を抱かせる演出で随所におもてなしの心を感じる出迎えを受けました。

○はじめにご経歴を教えてくださいませんか

当社は創業して44年目を迎えます。私はその創業者の娘婿として平成元年に入社しました。

それ以前は大阪で繊維の専門商社に勤め、大手アパレルメーカーとの取引に従事し、結婚を機に入社しました。

その後、2001年1月1日に社長に就任し14年目を迎えています。

○御社の企業理念をお聞かせください。

当社は経営計画書に基づいて運営されています。

「人を活かし・物を活かし資源リサイクル活動を通じて社会貢献に努め、お客様と社員が誇りと喜びを共創できる会社を目指します。」を経営理念とし、経営信条、経営方針

を明確にし、年間を通して社員が実践できるよう一冊の計画書を作成しています。

○「おもてなし経営企業選」の受賞についてお聞かせください。

まずきっかけは、後継者としていろいろな勉強をしていく中で「日本経営品質賞」の存在を知りました。経営品質の勉強会に多く参加するようになり、基礎となる考え方を学びました。

企業は繁栄したい、そのために社長が努力するのは当たり前。そんな社長の分身を作っていくことが企業力に繋がるという考え方が経営品質にはあります。

お客様第一主義の考え方はあるが、社員が幸せを感じ、社員が満足を得られる企業でなければお客様に喜んでいただけない。社員力を上げることが大切です。

経営品質を学びながら、他社の良いところを吸収し、自社の良いところを磨く作業を繰り返し、社員力の向上に努めてきました。

その頃、法政大学の坂本教授の書かれた本「日本で大切にしたい会社」が出版され話題となり、企業のあるべき姿や指針とされてきました。その中にも、社員を大切にすることの重要性が説かれています。

この本をベースにした社員満足度の高い企業を表彰する「日本で大切にしたい会社大賞」があります。縁あって第二回の大賞にエントリーすることとなり、部門別の中小企業長官賞を受賞しました。

この受賞もひとつ大きな励みとなり、もっとお客様に喜



んでいただく、もっとお客様の喜びを考えようという気持ちになり、さらなる社員力の向上に繋がりました。

年間300人以上訪れる工場見学者からも、「社員が生き生きしている」との感想をいただくようになり、その方々から経済産業省の提唱する「おもてなし経営企業選」に推薦したいとの声をいただきました。

イメージでは「おもてなし」と言えば飲食業を想像しますが、本当の意味での「おもてなし」は会社が社員をもてなし、お客様をもてなし、地域にどう貢献していくかが世の中に対するおもてなしであるとの考え方から、当社の社員力を評価していただいたようです。

これを目指していたわけではありませんが、理念に基づいて長い間取り組んできたことが認められ、受賞できたことは励みになるし、更なる向上への力になります。

○座右の銘とか好きな言葉をお聞かせ下さい。

「一燈照隅、万燈照国」一人が小さなことでも照らすことによって、みんなが照らしていけば大きな明かりとなって照らされる。

まさに企業理念と重なるところがありますが、周知徹底は難しい、執念を持って継続しないと続かない。

だから社員にも難しいことは言わない、「誰にでもできることを誰にでもできないくらい続けましょう」これが大きな光になると信じてます。

○趣味・健康法・スポーツなどについてお聞かせ下さい。

間口を広くしておかないと色々な発想が生まれないの

で、広く浅く様々なことをします。ゴルフ、テニス、スキューバなど何でもやります。

毎日続けているブログも趣味になるかもしれません。

また、料理も好きです。週に一回冷蔵庫のあまり物を在庫整理と称し料理しますが、色々な味にチャレンジしたり、組合せを工夫したり、経営に似た感覚で楽しいです。

健康法はスケジュールを入れまくることで。予定があれば油断できないので、事前準備力が高まり健康を維持できます。

本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

紙面の都合上全てを書ききれませんが、社長の経営に対する思い、社員を思う気持ち、お客様、地域に対する思いが伝わってくるインタビューでした。

冒頭ご紹介した色紙やコースターは社会貢献の一環で立ち上げられた社会福祉法人で造られたものです。

取引先、自社（社員）、地域社会とすべてが満足して幸せに暮らせる元気な岐阜になって欲しいとおっしゃったことが印象的でした。